

今月のミュージックが生まれるまで

AI MIKURO
三久保 愛さん
ロゼイブブラン
メイクアップアーティスト

2015.9.8 at Shinjuku



透明感を削いだミヤマアフェイスで、本来の鼻筋の美しさを表現。

「彼女のイノセントな美しさを引き出すポイントには、自然感重視のコンプレックスメイクにするのがポイントの鍵(1)のアイズ、アイラインの引きすぎないハイクマインカラー、柔らかくニュートラルなベースメイクに、さらさら肌質、頬骨のハイライトを、あえて落としたり表現は控えました。」



ベースメイクは、タマなどのポイントになるポイントをコンシーラー(2)でカバーするのみ、フレッシュピンクのチーク(4)を、やや頬広につけ、赤みをプラス、目元は、唇にも使うベージュの口紅(5)を使い、上まつ毛を淡くダロッキーに、アイラインを引かないぶん、マスカラ(3)を上目下につけ重ね、存在感を作って存在感を出す。もともとしっかりある眉は、印象を悪くするために、黄味系の眉マスカラ(1)で明るくする。

1: 色の透明感を削いだミヤマアフェイス、アイラインの引きすぎないハイクマインカラー(5) VJ A31(ロゼイブブラン) 2: 肌にも自然な透明感をプラスするコンシーラー、ポイントカラー(4) VJ(ロゼイブブラン) 3: ミッドナイトセラムマスカラ、50g (C) 020807(ロゼイブブラン) 4: フレッシュピンクのチーク、ファンデーション(4) VJ A31(ロゼイブブラン) 5: ミッドナイトセラムマスカラ、50g (C) 020807(ロゼイブブラン) 6: ミッドナイトセラムマスカラ、50g (C) 020807(ロゼイブブラン) 7: ミッドナイトセラムマスカラ、50g (C) 020807(ロゼイブブラン)



ロゼイブブラン MIKURO(三久保 愛さん) (ロゼイブブラン) (AI MIKURO)

三久保 愛さん
ロゼイブブランメイクアップアーティスト

「上下黒のパンツスーツに、ラインを効かせたメイクで、百貨店で立ち働いていた三久保さん。端正な顔立ちと透けるように白い肌、たくさんの女性たちが行き交うコスメフロアでも埋もれない、そのイノセントなお顔に惹きつけられました」

— UDA&A

MISSION

7